

地域説明会 平成28年11月17日開催 《鶴瀬コミュニティセンター》

①

Q 子どもの学力は、どのような取り組みを考えているのか。また、学力調査などをどのように活かしていくのか。

A 教育部長（学校）

教え方を工夫し、意欲を持って一生懸命学べる姿勢というものを養っていきたい。また、学校に通うことの楽しみや生きがいを感じられるように、仲間づくりや仲良く学ぶことを伝える心の教育の充実にも取り組んでいきたい。学校では既に、ピア・サポート運動という仲間を大切にする運動にも取り組んでいる。

学力調査時に学習状況調査も同時に行われている。その結果では、家庭学習が全国平均に比べて少ない傾向にある。家庭学習の充実のため、教育委員会、保護者、地域などが連携し、取り組んでいきたい。

②

Q 学力向上の数値的な目標はないのか。

A 教育部長（学校）

現在、学力・学習状況調査については、全国平均を下回っているので、後期基本計画では、数値目標を全国平均に届くように設定している。

③

Q 健康マイレージ事業について、三芳町では実施しているが、万歩計はもらえるのか。

A 健康福祉部長

現在、制度設計は検討中。歩数などのデータを蓄積するのは埼玉県を中心にシステムを構築する予定となっている。万歩計は貸出しを想定している。

④

Q ボランティアをやりがいや生きがいとしている方もいる。そういった方への見返りのないものはないのか。マイレージとして返ってくれば、もっとやる気が出るのではないか。

A 健康福祉部長

今年の10月から介護支援ボランティアポイント制度として、介護事業所等でボランティアをしていただき、話し相手や簡易的な作業を行うことで、1時間1ポイ

ント、1日上限2ポイントまでを付与している。ポイントが貯まった方は、今のところ現金に換金する事業を実施している。

また、切れ目のない支援の一環として、妊婦健診などでの付与も検討している。今後は、このマイレージ制度に一本化できればと考えている。

⑤

Q 私の町会では、2,478人、1,030世帯、約700人の高齢者がいる。民生委員は3人で、町会長まで出ないと足りない状況にある。民生委員を増やすことはできないか。また、町会で10,000円の補助も出しているが、やり手がいない状況にある。

A 健康福祉部長

民生委員は、国からの委嘱となっている。全国一律に世帯数に応じた配置基準のため、市独自では難しい。しかし、民生委員の仕事は少なくなるとは考え難いため、今後も市として支援の仕方などは考えていきたい。

⑥

Q 高齢者あんしん相談センターの主催でオレンジカフェ（認知症カフェ）というものをやっているが、10人程度のボランティアの方がいる。この方たちを民生委員に推薦できないのか。

A 健康福祉部長

民生委員は、12月に新たな委嘱を行い、これまでより増員する予定となっている。人数は基準があるため、新たな推薦等ができない状況である。

⑦

Q 差別解消法の推進とあるが、この説明会で要約筆記者がおらず、内容がわからない。手話も完全に理解できない。市が実施するイベントには全て要約筆記者を付けてほしい。

A 総合政策部副部長

市の催しの際には、各種団体にもお知らせをさせていただいている。団体等を通じてご連絡いただき、できる限りの対応をしたいと考えている。

⑧

Q ららぽーとの開業に伴い、市内でも車の数が増えている。それに加え、踏切で詰まってしまう車も多くなってきている。

三芳町に抜ける踏切などは、物流の面からも立体交差が必要なのではないかと。朝晩など混みあっており、長期的な視点や発展のためにも取り組んでほしい。

A 建設部長

立体交差の実現のためには、近隣の方の協力が必要であり、これまでも東上線の協議会でお願いをしている。長期的な視点に立ち考えていきたい。

⑨

Q 防犯カメラを設置するとのことだが、今後どのように増やしていくのか、具体的な数値を教えてください。

A 自治振興部長

市としては、現在、公共施設に設置している。道路に防犯カメラを設置することは、肖像権の問題もある。防犯カメラを町会や商工会で設置していただくなどの手法も考えていかなければならない。詳細は、今後詰めていきたい。

⑩

Q 防犯カメラを設置するということで市民を安心させてほしい。そのための具体的な提案はないのか。

A 総合政策部長

この計画は今後4年間の目標、目的を定めており、市の最上位の計画となっている。今後議論を重ね、予算化などを通じて具体化していくものであり、4年の中での対応となる。防犯カメラの設置は、様々な課題もあるが、具体化に向けて取り組んでいきたい。

⑪

Q 公園の設置については、どこか具体的な計画はあるのか。また、地域が要望した場合、対応してくれるのか。こういった流れとなるのかを含めて伺いたい。

A まちづくり推進部長

羽沢地区には生産緑地として農地が残っている。最近では、小規模土地区画整理事業として生産緑地も含めた区画整理ができている。公園だけの確保が難しいことから、このような区画整理事業を含めた整備を進めていきたい。

諏訪地区においては、逆線引きで市街化になったところなど、区画整理ができない話をさせていただいている。

また、緑地自体については、緑地基金を活用し、できるだけ確保していきたいと考えている。

⑫

Q 雨水について、今後も浸透枳のやり方を進めていくのか。

A 建設部長

雨水の浸透枳については、浸透の容量を超える雨であると、対応できていない状況もある。そのため、浸透トレンチ層の設置をお願いしている。生活道路にも入っており、有効的な措置であると考えている。

溢れてしまった場合には、止めることは難しいが、河川ならば遊水池、道路では学校のグラウンドや浸透井戸への放流など、一時貯留で対応している状況で、適正な維持管理が必要な状態となっている。

⑬

Q 雨水幹線を主要道路に入れていかないのか。

A 建設部長

今後検討していく。

⑭

Q 防犯カメラの維持管理は誰になるのか。

A 自治振興部長

基本は設置者になると考えている。